

# 2008 利根川天然遡上アユ情報

2008/05/19

(独立行政法人)水資源機構では、利根大堰において天然遡上アユの調査を行っています。今年度は、右岸側の1号魚道について調査を行っており、直接に計測された稚アユの数量は5月18日時点で31,629匹(実際の遡上数はこの数字に係数を乗じる)とやや少ない傾向のようです。(参考に、荒川の秋ヶ瀬堰では調査史上最高の約94万尾の遡上となっています。)

しかし、上流のダム群の貯水率が満水に近づいていることから、ダムへの流入量と放流量が同程度となることより河川流量の多い日が続いています。この結果、江戸川水門が開く時間が相当長くなることが期待されるため、天然遡上アユの増加が期待されるのです。

県内の利根川では、天然遡上アユのハミ跡が多く見られるようになってきました。玉村町におけるハミ跡の例を紹介します。

大きく育て稚アユ達！！



(ハミ跡は小さいが確実に遡上しています。)



(報告：福田睦夫)